比内支援学校たかのす校　進路指導だより

たかすなわちわざをなす

鷹乃学習

令和８年８月２５日発行

～アビリンピックあきた 2026～

７／９（木）秋田市にぎわい交流館ＡＵにて、アビリンピックあきた２０２６が開催されました。たかのす校からは、縫製部門に高等部３年中田加奈さん、ワード・プロセッサ部門に同じく佐藤藍瑠さん、ビルクリーニング部門に同じく播磨史恩さんが参加しました。これまでの作業学習等で培った力を遺憾なく発揮し、３人とも最後まで頑張りました。縫製部門に参加した中田加奈さんは銀賞に輝きました。



＜縫製＞
ミシンを使用してエプロンを製作します。



＜ビルクリーニング＞
模擬オフィスにおいて、床清掃や机上清掃を行います。



＜ワード・プロセッサ＞
ワープロソフトを使用し、課題と同じ文書を作成します。

～アビリンピックとは～

「全国障害者技能競技大会」の愛称で、障害のある方が仕事や学習で培った技能を競い合う大会のことです。障害のある方の職業能力の向上や企業や社会に障害者雇用への理解を深めてもらい、雇用を促進することなどを主な目的とし、パソコンデータ入力、喫茶サービス、オフィスアシスタントなどの全２５種目で大会が行われています。全国大会と都道府県大会があり、アビリンピックあきたでは、今回高等部生徒が参加した種目を含む全８種目が行われています。

～進路後援会～



７／１５（水）に開催した前期進路後援会では、授業参観や進路学習に関する情報交換などを行いました。今回は小学部段階の進路学習を取り上げ、協議しました。参加された方々からは、低年齢期のねらいのもち方や積み重ねの大切さなど、貴重な御意見を多数いただきました。

〇授業参観後、「**働く力の基礎を育む学習活動**」について情報交換・意見交換をしました。

小学部での進路学習の取り組みを踏まえ、次のようなことが話題に挙がりました。

- 小さい頃からの**積み重ね**が、働く力、生きる力の基になる。
- **継続**することで力が育つ。
- 「自分で決めて、自分でやる」＝「**自主性**をもたせる」ことが大切。
- 体力や技術も大切だが、**自分の心をコントロール**する力も大切。

